

自分らしい生き方をえらんだ人々

らしさってなあに？

「男らしさ」「女らしさ」ってまだあるの？

❖ 次の絵を見て、ふき出しの中のことばを考えてみましょう。

1. A boy with a blue bag says, "ぼくは人形あそびが大好きなんだ。" (I love playing with dolls.) A girl sitting on the floor with a doll replies, "どんなことを言っているのかな?" (What are you saying?)

2. A boy in a green shirt says, "このピンクの新しい服買ってもらったんだ。カッコいいでしょう。" (I bought this new pink shirt. Isn't it cool?)

3. A girl in a baseball uniform says, "大会でゆうしょうしたよ。わたしがホームランをうってかったの。" (I won the tournament. I hit a home run.)

新潟市教育委員会



バス運転士
むねむら まきこ
宗村 麻樹子 さん



いぜんは旅行社に勤めていましたが、友人の勧めもあり、バスの運転士を目指しました。転職を決めてから大型二種免許の取得に挑戦しました。バスの乗務で最も気をつけていることは、車内事故防止です。ブレーキを踏むときも細心の注意を払います。お客様から「ありがとうございます。」と声をかけられることが一番うれしいです。

現在は、高速バスにも乗務しています。これからも、安全に注意し、お客様に快適なバスの旅を楽しんでいただきたいと思います。



幼稚園教諭
たぐち たくみ
田口 琢望 さん



小さい子どもたちが大好きで、子どもたちとかかわる仕事に就きたいと思いました。幼稚園教諭を目指したのは、音楽やピアノが好きなことと幼稚園時代の恩師との出会いがあったからです。

幼児期の子どもたちは、キラキラした瞳で、毎日ぐんぐん成長しています。そんな子どもたちと一緒に、私も心と体を動かして充実した日々を送っています。

幼稚園の先生はとても魅力的な仕事で、この職業をこれからも生きがいとし、子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいと思います。

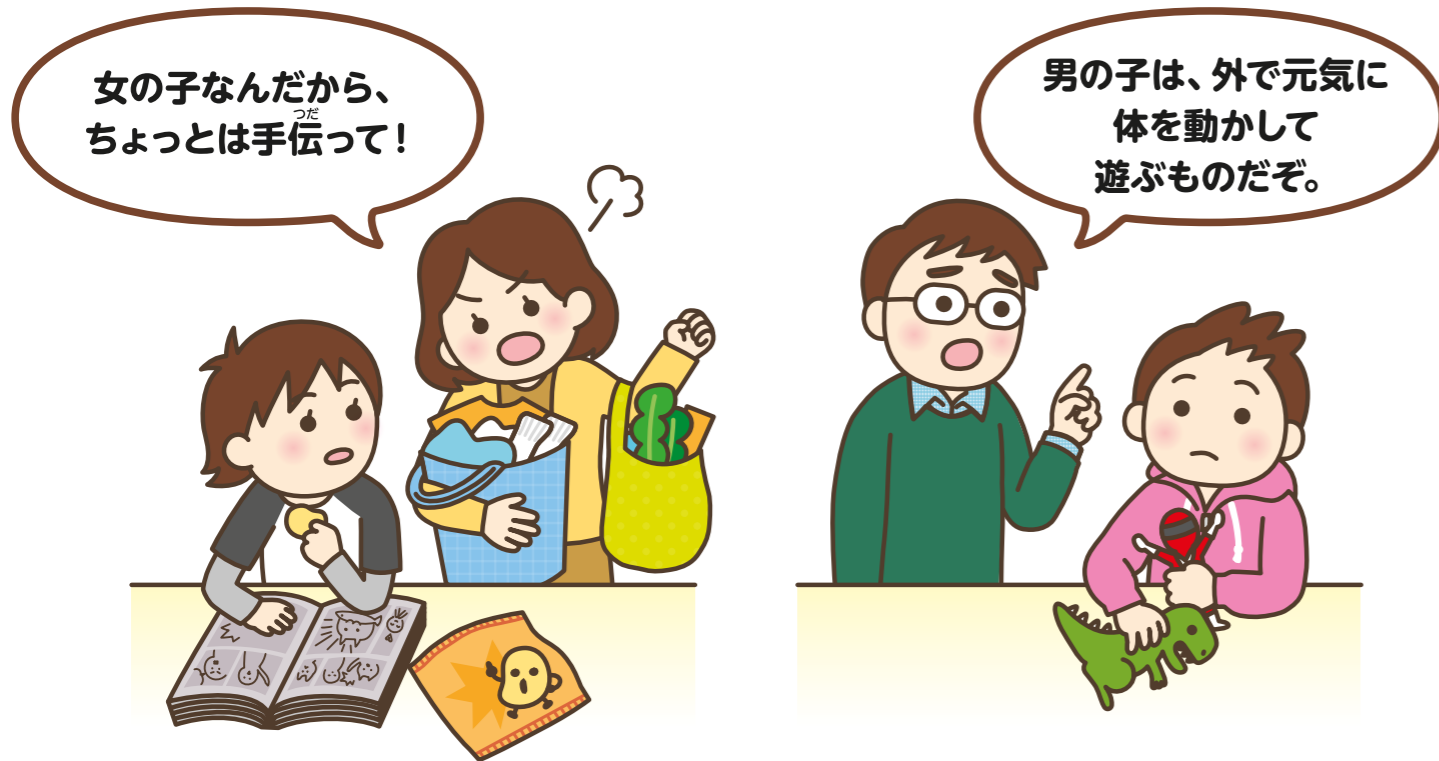
保護者の皆様へ

新潟大学大学院教育学研究科 教授 相庭和彦

なぜ男女平等教育を義務教育で行わなければならないのでしょうか。それは子どもたち一人一人の夢を実現していくためです。現代社会はいろいろな職業があります。子どもたちはその中から自分の希望する職業を目指して努力していきます。そこで「女の子だから」、「男の子だから」という理由で夢や希望を遮断されると、子どもは努力をすることをあきらめてしまいます。子どもの心にあきらめの気持ちが芽生えると、子どもたちに成長の機会を与えようとしてもよい結果が期待できません。だから、男女平等教育はとても大事な教育なのです。ぜひ保護者の皆さんもこの資料を参考にし、お子さんと話してみてください。

男だから!? 女だから!?

❖ 「男らしく」「女らしく」と言われたことはありませんか。



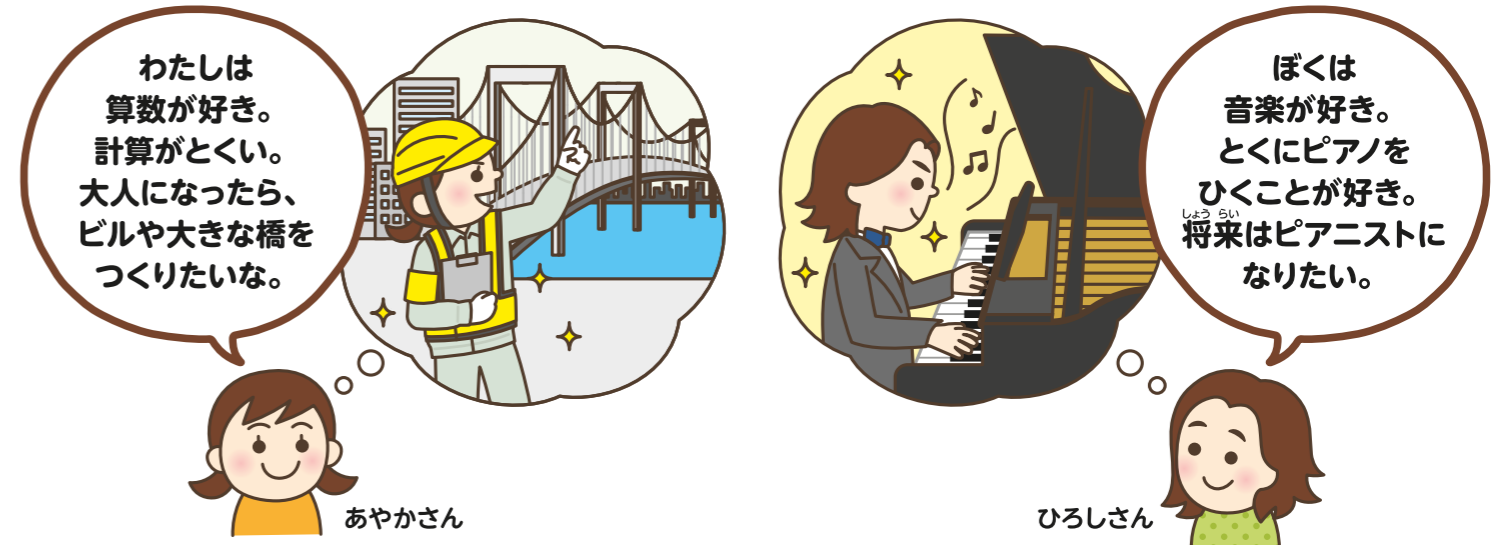
❖ 学校や家庭、いろいろな場面で、にたようなことは、ありませんか。

みんなで話し合ってみましょう。

❖ 「自分らしく」「わたらしく」するって どんなことでしょうか。

「わたらしさ」を大切にしよう

❖ あなたは どんな 大人に なりたいですか。



❖ これを聞いた友だちが話しています。()の中に、そう思うものに○、そう思わないものに×をつけてみましょう。



あなたらしさを大切にしていきましょう。

あなたは どのようなことが好きですか。将来、どのような仕事をしたいですか。

好きなこと

将来の夢

おうちの人から、応援メッセージを書いてもらいましょう。